

DFWC ワイン会

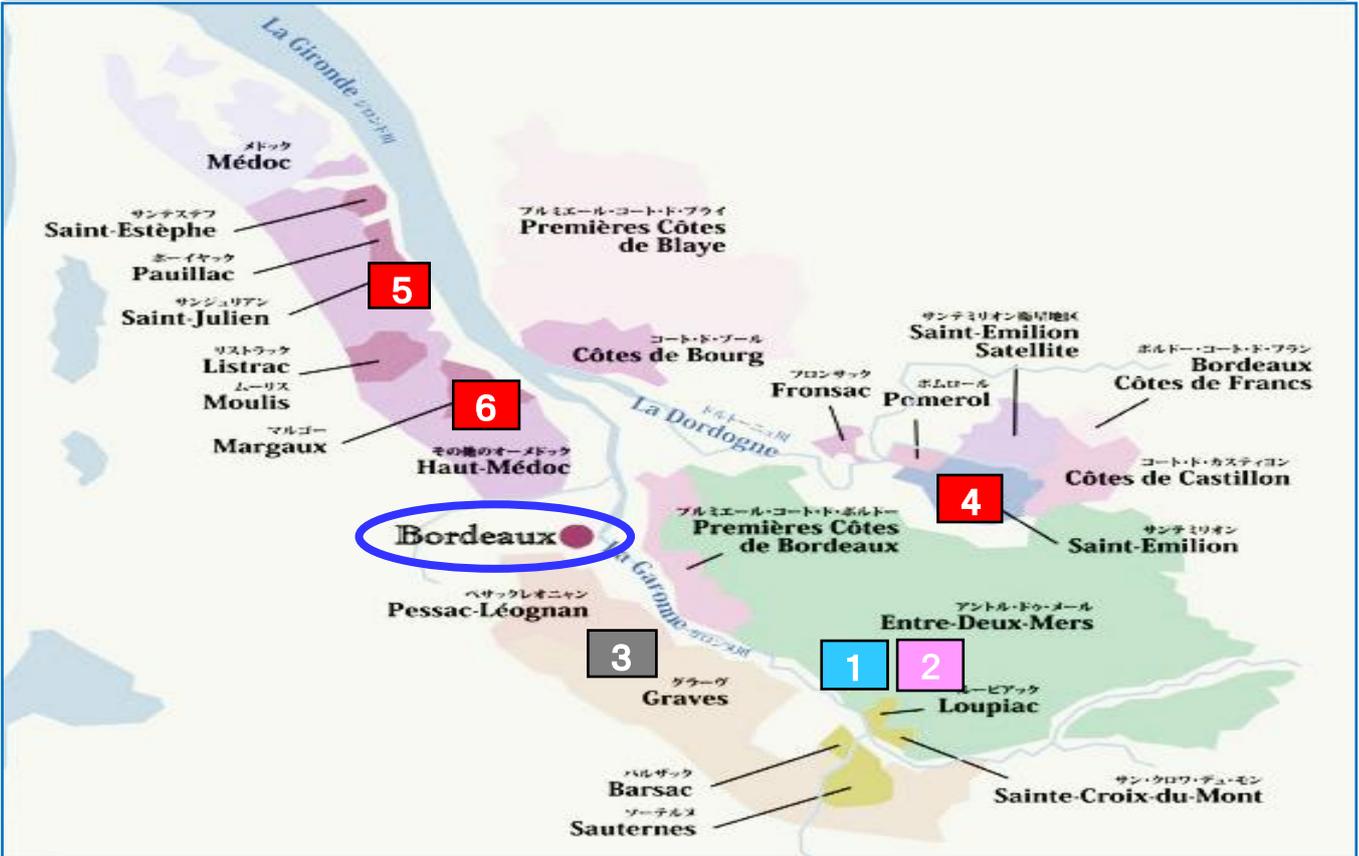
ボルドーワイン

【 2024年3月14日(木) 】

フランスワイン地図



ボルドーワイン地図(数字は本日のワイン番号・産地)



ボルドーワイン 主要産地 三行解説

(表紙地図の産地の色と下記産地名は同じ色にしています)

Médoc (メドック)

～上流(南)より下流(北西)へ

Margaux (マルゴー) (本日のワイン **6**)

言わずと知れた五大シャトーの一つ Chateau Margaux(シャトー・マルゴー)を輩出する村。ボルドー市街から北上すると間もなく現れる。メドックの中で最もジロンド川上流に位置し、繊細で優美なワインが生まれる。

Saint-Julien (サン・ジュリアン) (本日のワイン **5**)

メドックの中央部に位置し、ジロンド川に向かってなだらかに傾斜した地形。この自然条件により、日当たりと風通しに恵まれ、力強さと華やかさを兼ね備えた芳醇でエレガントなワインを数多く産み出している。

Pauillac (ポイヤック)

五大シャトーのうち Chateau Lafite Rothschild (ラフィット・ロートシルト)、Chateau Latour (ラトゥール)、Chateau Mouton Rothschild (ムートン・ロートシルト) の3つを擁する、ボルドーでも最も偉大なワインを産出する村。

Saint-Estèphe (サン・テステフ)

ジロンド川の河口に近く、他の地域よりも土壌に粘土質が多いため、果実が凝縮したような力強いワインが造り出されている。色調の濃い、豊かな香りを持ったスケールの大きなワインが多い。

ボルドーワイン主要産地 三行解説（続）

（表紙地図の産地の色と下記産地名は同じ色にしています）

Saint-Émilion（サンテ・ミリオン）（本日のワイン **4**）

ボルドーにおいて前出メドックと双璧をなす赤ワインの銘醸地。メドックのカベルネ・ソーヴィニヨン種に対し、サンテ・ミリオンはメルロー種の聖地で、果実味に富んだ、しなやかな口当たりのワインが多く造られている。

Pomerol（ポムロール）

上記サンテ・ミリオンに隣接し、サンテ・ミリオン同様に良質なメルロー種が育つ。Chateau Petrus（ペトリュス）や Chateau Le Pin（ル・パン）といった垂涎の高級銘柄を筆頭に、優れた赤ワインが産み出されている。

Graves（グラヴ）（本日のワイン **3**）

Graves（グラヴ）は「砂利」の意味で、名前のおよりの砂利の多い土質から辛口の白赤ワインを産出。ボルドーの銘醸白ワインのほとんどがグラヴ産。赤では五大シャトーの Chateau Haut Brion（オー・ブリオン）が造られている。

Entre-Deux-Mers（アントル・ドゥ・メール）（本日のワイン **1** **2**）

Entre-Deux-Mers = Between-Two-Seas（二つの海の間）の意味で、ガロンヌ川とドルドーニュ川という、海に見立てた2つの川に挟まれた三角州の一帯。ボルドーで、特に日常ワインを主体とした白ワインの一大産地となっている。

Sauternes（ソーテルヌ）

世界三大貴腐ワインの中でも群を抜く知名度。貴重な貴腐菌が発生する特別な気候条件のもとで、最高峰 Chateau d'Yquem（ディケム）を筆頭とする数々のシャトーが極甘口の高級白ワインを造り出す地として世界的に知られる。



本日のワインリスト



APERITIF

スパークリングワイン

Sparkling wine



泡

Jean Louis Ballarin (ジャン・ルイ・バララン)

生産地 : 本日のクレマンは → Entre-Deux-Mers (アントル・ドウ・メール)

★シャンパーニュと同じ製法の瓶内二次発酵で造られるクレマン・ド・ボルドー。その中でもリーダー的存在であるジャン・ルイ・バララン社のワイン造りは、ガロンヌ川沿いの地下 30m の洞窟にあるセラーで、ワイン醸造にとって理想的な低温状態で行われるため、バランス良く仕上がったワインが産み出される。

★生産者名 : ジャン・ルイ・バララン
ヴィンテージ : N.V.

1 白 Brut

★青りんごを感じさせる辛口。清涼感のある香りと口当たりで、キメの細かい泡と伸びのある酸が広がり、心地良い苦味を伴う余韻へと続く。

アルコール度数 : 12.0%
参考価格 : 2,500 円
ぶどう品種 : セミヨン 70% ミュスカデル 30%

2 ロゼ Sec

★今の時期にぴったりの桜のつぼみを思わせる淡いピンク色。いちごのような愛らしい香りにほのかな甘みを伴った果実味あふれる豊かな味わい。

アルコール度数 : 12.0%
参考価格 : 2,500 円
ぶどう品種 : メルロー60% カベルネ・フラン 40%



1 ジャン・ルイ・バララン白



2 ジャン・ルイ・バラランロゼ



White Wine

白ワイン



3

白

Clarendelle (クラレンドル)

生産地 = Bordeaux (ボルドー) → Graves (グラヴ)

- ★ボルドー白ワインを語る上で、グラヴはそれを代表する産地として外せない。「グラヴ」はフランス語で「小石」や「砂利」を意味し、その名のとおり的小石や砂利が堆積した水はけの良い土壌がミネラル豊かなワインを産み出す。
- ★このワインの造り手は、五大シャトーの一角として君臨するシャトー・オー・ブリオンのグループ。ボルドー白ワインで迷ったらこれ、と言われるワインで、カンヌ映画祭や、テニスの全仏オープン、パリのオペラ座、三ツ星レストランのアラン・デュカスなどでも採用されている実力派。
- ★ソーヴィニヨン・ブランの爽快さにセミヨンのオイリーな質感を融合させた、伝統的なボルドー白ワインの味わい。その芸術的とも言えるブレンドの技術が、繊細で調和のとれたワインを造り上げる。果実味と爽快な酸味のバランスが絶妙で、中盤から余韻に感じる渋味とほろ苦さが全体の味わいを引き締めている。

★生産者名	: クラレンス・ディロン・ワインズ
ヴィンテージ	: 2022年
アルコール度数	: 13.0%
参考価格	: 3,060円
ぶどう品種	: ソーヴィニヨン・ブラン 55%
	: セミヨン 26%
	: ミュスカデル 19%



3 クラレンドル



RED
WINE

赤ワイン



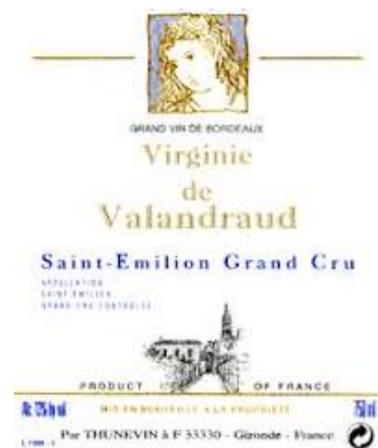
6 赤 Virginie De Valandraud (ヴィルジニー・ド・ヴァランドロー)

生産地 = Bordeaux (ボルドー) → Saint-Émilion (サンテ・ミリオン)

★「ボルドーのシンデレラ」。ヴァランドローは、その初ヴィンテージの1991年以來、ワイン界ではありえない異例中の異例の20年という短期間でサンテ・ミリオンのトップ格付け第一特別級に昇りつめ、その驚異的な昇格スピードはフランスワインの歴史を塗り替えたシャトーとして業界に衝撃を与えている。このワインはそのヴァランドローのセカンドラベルながら、生産量が少なく、サンテ・ミリオンの最も調和がとれた気品あふれるクリュの一つとして、ワインコレクターが追い求める宝物的存在になっている。

★樽香で支えられ、芳香性が高く、豊かでピロードのように滑らかな口当たり。骨格の大きい力強いワインで、リッチな凝縮感と繊細なタンニン、そして、くっきりとした輪郭がある。完璧主義のスタイルを独創性をもって体現している。

- ★生産者名 : ジャン・リュック・テュヌヴァン
- ヴィンテージ : 2020年
- アルコール度数 : 14.5%
- 参考価格 : 7,660円
- ぶどう品種 :
 - メルロー 75%
 - カベルネ・フラン 15%
 - カベルネ・ソーヴィニヨン 10%



6 ヴィルジニー・ド・ヴァランドロー



RED
WINE

赤ワイン



5

赤

Chateau Lagrange (シャトー・ラグランジュ)

生産地= Bordeaux(ボルドー) → Medoc(メドック) → Saint-Julien(サン・ジュリアン)

★サン・ジュリアンを代表するメドック格付け第3級の本格派シャトー。中世の時代からの長い歴史と伝統を持ち、美しい姿を誇るこのシャトーは当時「高貴な館」と呼ばれ、一部はボルドー聖堂騎士団の領地でもあった。抜群の安定感を備えた品質のワインを産み出すため、評価は近年さらに高まっている。シャトーの運営とワイン生産に日本資本が関与していることもあり、日本には特にラヴァーが多い。

★深いルビーレッドの色調で、黒系果実の濃密なアロマ。凝縮した力強く豊富な果実味と上質なタンニンをジューシーな酸味が支える。しっかりとした風味の深みがあり、滑らかな舌触りの質感は口の中を撫でるようにふくよかで柔らかい。バランスのとれたまとまりのある味わいから、長い余韻へと続く。

★生産者名	: シャトー・ラグランジュ
ヴィンテージ	: 2018年
アルコール度数	: 14.5%
参考価格	: 11,000円
ぶどう品種	: カベルネ・ソーヴィニヨン 80%
	メルロー 18%
	プティ・ヴェルド 2%



5 シャトー・ラグランジュ



RED
WINE

赤ワイン



4

赤

Chateau Du Tertre (シャトー・デュ・テルトル)

生産地 = Bordeaux (ボルドー) → Medoc (メドック) → Margaux (マルゴー)

★多くの名だたるワインを輩出する銘醸地マルゴーの中にあって、「テルトル」(小高い丘)と名付けられているとおり、標高の高い丘に位置している。高台の日照に恵まれた好条件で、マルゴーならではの独特の気品が備わったワインが生まれる。ガーネットのような深みのある色合いで、力強さがあふれるだけでなく、優雅さとしなやかさを持ち合わせたワインには、マルゴーのワインのスタイルが色濃くにじみ出ている。洗練された長く続く余韻も魅力。

★ワインには、気候やぶどうの生育状況によって当たり年や外れ年があると言われる中で、特筆すべきは、このシャトーにはムラがない点。どのヴィンテージでも完成度の高いワインを造り上げている。同じマルゴー村第3級シャトー・ジスクールの兄弟シャトーとしても評価が高いメドック格付け第5級。

★生産者名	: シャトー・デュ・テルトル
ヴィンテージ	: 2018年
アルコール度数	: 14.5%
参考価格	: 8,490円
ぶどう品種	: カベルネ・ソーヴィニヨン 75%
	: カベルネ・フラン 10%
	: メルロー 10%
	: プティ・ヴェルド 5%



4 シャトー・デュ・テルトル